

狭山市立柏原小学校 ICT 授業実践例

1 ジャンル

小学校6年生

国語

B4 表現・制作

児童生徒

2 概要

やまなしに出てくる2枚の幻灯をイメージして創作した絵を、実際にホワイトボードへ投影する活動を行った。



単元(題材)名

やまなし

単元(題材)目標

◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。
○人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。

活用したICT機器、アプリケーション等

GIGA端末、Sky menu cloud
マグネット型ホワイトボード、プロジェクター

本時のめあて

物語の世界を具体的に想像しよう

本時の展開の概要

- ①自分の想像した2枚の幻灯をノートにかく。
- ②自分の端末にてそれぞれの写真を撮り、2枚のスライドとして発表ノートを作り、先生に提出。
- ③全員の幻灯を見合い、イメージを共有。見ながら感想を言い合う。

写真・記録



ICT機器の活用でねらった効果

- ・教室内で幻灯の雰囲気を経験する環境づくり
- ・個人のイメージの全体への共有

児童生徒の様子(成果や課題)

- 教室前方にテレビ以外の提示装置を使い、室内を暗めにして映し出すやり方は、時間はかかるが、幻灯の雰囲気を醸すことができた。
- 参加児童全員の作品のイメージを全員で共有できた。

△約30人のスライドを流し、感想を子供たちから引き出すだけだったので、間延びしている感じがした。⇒かいた本人に注目してほしいところを言わせた方が、教育効果があったかもしれない。

狭山市立柏原小学校 名前: